ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/06/17 号（As of 2024/06/14）

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	157.35
TKY 9:00AM	157.12	1.0737	168.76	1.2754	0.6631
SYD-NY High	158.25	1.0745	169.79	1.2763	0.6641
SYD-NY Low	156.80	1.0668	167.56	1.2658	0.6591
NY 5:00 PM	157.46	1.0707	168.57	1.2688	0.6614

	終値	（前日比）		終値	（前日比）
NY DOW	38,589.16	▲ 57.94	日本2年債	0.3000%	▲0.0200%
NASDAQ	17,688.88	21.32	日本10年債	0.9300%	▲0.0300%
S&P	5,431.60	▲ 2.14	米国2年債	4.7044%	0.0033%
日経平均	38,814.56	94.09	米国5年債	4.2392%	▲0.0057%
TOPIX	2,746.61	14.83	米国10年債	4.2199%	▲0.0272%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,555.00	▲ 25.00	独10年債	2.3565%	▲0.1355%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,146.86	▲ 16.81	英10年債	4.0580%	▲0.0610%
DAX	18,002.02	▲ 263.66	豪10年債	4.1550%	▲0.0510%
ﾊﾝｾﾝ指数	17,941.78	▲ 170.85	USDJPY 1M Vol	8.19%	▲0.03%
上海総合	3,032.63	3.71	USDJPY 3M Vol	8.74%	0.04%
NY金	2,349.10	31.10	USDJPY 6M Vol	9.33%	0.12%
WTI	78.45	0.19	USDJPY 1M 25RR	▲1.11%	Yen Call Over
CRB指数	294.03	▲ 1.60	EURJPY 3M Vol	9.26%	0.45%
ドルインデックス	105.55	0.35	EURJPY 6M Vol	9.51%	0.39%

【昨日の指標等】

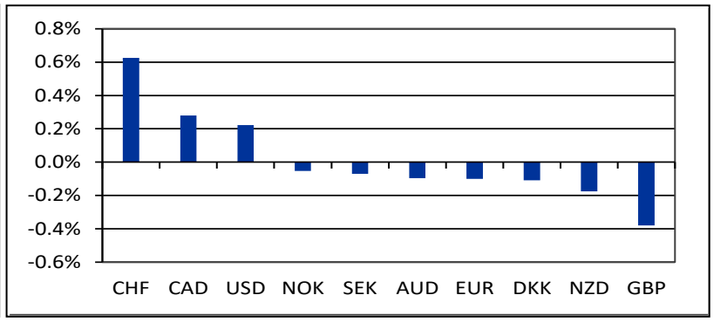
Date	Time		Event		結果	予想
6月14日	-	日	日銀 金融政策決定会合	6月	0.00%-0.10%	0.00%-0.10%
	15:30	日	植田日銀総裁 会見		「データ次第では7月利上げの可能性ありうる」	
	23:00	米	ミシガン大学消費者ﾏｲﾝﾄﾞ・速報	6月	65.6	72.0
	23:00	米	ミシガン大学1年期待インフレ率	6月	3.2%	3.3%
	23:00	米	ミシガン大学5-10年期待インフレ率	6月	3.0%	3.1%

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
6月17日	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	5月	6.2%	6.7%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	5月	3.0%	2.3%
	21:30	米	NY連銀製造業景気指数	6月	-11.3	-15.6
6月18日	01:00	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-	-
	02:00	米	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	157.00-158.00	1.0650-1.0750	168.00-169.00

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は157.12ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。発表前の警戒感からか、特段ﾍｯﾄﾞﾗｲﾝのない中で、正午過ぎに瞬間的に一時156.85まで下落するも、ほどなくして値を戻す。その後政策金利の据え置き、注目された国債買入の減額について今会合では変更がないことが伝わると円売りが進行し、157円台後半まで急伸。その後もじり高の推移が続く中、158.25まで上値を伸ばし、158.18ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、158.18ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。植田日銀総裁会見中に上昇した分を打ち消すように下落し、156.89まで売られる。その後、方向感なく推移し、結局157.06ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	日銀金融政策決定会合では期待された国債買い入れ減額の決定が次回会合で内容を決めることが発表されたことから、7月に利上げはないとの見方からﾊﾄ派と取られ、円売りが強まり158.25まで上昇するが、利食い売りに156.95まで反落し、157.06ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方は一旦157.44まで戻す。10時に発表の6月ﾐｼｶﾞﾝ大学消費者信頼感指数（速報値）はｲﾝﾌﾚ予想が長短期共に予想を上回る一方、ﾍｯﾄﾞﾗｲﾝが予想を大きく下回り157.04まで反落する。その後は週末を控え157.30付近での閑散な推移が続き、157.46ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方。今月末の仏選挙で極右政党優勢との報道を受け、政局不安から軟調なﾕｰﾛﾄﾞﾙは、ｶｻﾞｰｸｽ・ﾗﾄﾋﾞｱ中銀総裁の市場の金利予想は妥当と見受けられるとの追加の利下げ予想を後押しするような発言もあり、海外市場で1.0672まで下落し、1.0694ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、再び1.0668まで下落するが、その後は週末を控えｼｮｰﾄｶﾊﾞｰからじり高で推移し、1.0707ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外時間におけるドル/円は、一時156円台後半まで反落する場面も見られたが、157円台に戻して揉み合いが継続した。欧州時間は、植田日銀総裁会見の内容が早期利上げを示唆させる内容と捉えられ、円買いが進行し、一時156円台後半まで下値を拡大した。NY時間に入ると、対ユーロでドル買いが強まるなど、ドル/円の下落も一服し、再び157円台に戻した。この日発表された米6月・ミシガン大学消費者信頼感指数速報値はまちまちの結果となり相場への影響は限定的となった。このため、157円台ではもみ合いが継続し、同レベルでクローズした。

本日は157円台で動きづらい相場展開を予想する。フランスの政局不安を受けたユーロ安によりドル買いが強まる場面が見られる一方、植田日銀総裁の発言を受け日銀政策のタカ化を見据えた円買いも見られる考えると、ドル/円はドル買いと円買いに挟まれ身動きが取れなさそう。米5月・小売売上高の発表も明日に控え、本日は注目の指標もないことから現行水準でのもみ合いが継続か。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：尾身・南野